

# 現場説明書

- 1 工 事 名 半原線馬渡橋導水管撤去工事 (4)  
2 監 督 員 技術部 浄水課

## 説明事項

### 1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の上下水道局契約規程によりその例によることとされている契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

### 2. 契約の保証について

契約の保証 要 不要

契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の100分の10以上とすること。

- (1) 契約保証金の納付を証する領収書  
(2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等  
(3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、横須賀市上下水道事業管理者が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社の保証書  
(4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券  
(5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券

### 3. 前払金について

前払金 する しない

前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

### 4. 中間前払金について

中間前払金 する しない

中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。

### 5. 部分払について

部分払 する(——回以内) しない

### 6. 継続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について

- (1) 継続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。

会計年度	支払限度額 (請負代金額に対する割合)	前払金の上限
初年度(——年度)	——%	支払限度額・請負代金額の——%
第2年度(——年度)	——%	支払限度額・請負代金額の——%
第3年度(——年度)	——%	支払限度額・請負代金額の——%

- (2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。

## 7. 契約に関する事項について

### (1) 設計図書関係

- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とじし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

### (2) 提出書類関係

- ア 請負代金内訳書 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要
- イ 工 程 表 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要
- ウ 着 手 届 着手後5日以内に提出すること。
- エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。
- オ 下請負関係書類 下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。
  - ・ 施工体制台帳
  - ・ 施工体系図
  - ・ 再下請負通知書 (再下請負の発注がある場合)
- カ 直 営 工 事 届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

### (3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

### (4) 支給材料、貸与品関係

- ア 支 給 材 料 ~~あり~~ なし
- イ 貸 与 品 ~~あり~~ なし

### (5) 条件変更等の関係

工事の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

### (6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、工期の末に行う。

### (7) 部分引渡し関係

- 部分引渡し指定部分 ~~あり~~ なし

### (8) 火災保険等の関係

- 火災保険その他の保険の付保条件 ~~あり~~ なし

## 8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 工事 > 入札制度関連情報<工事> において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

## 9. コリンズの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

## 10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済(以下「建退共」という。)に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼り付けること。
- (2) 請負者は、当初請負代金額が500万円以上の場合、建退共の発注者用掛金収納書を貼った「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第1号様式(建退共))、「建設業退職金共済関係提出書」(第2号様式(建退共))、「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」(第3号様式(建退共))を工事しゅん工時に監督員に提出すること。ただし、この制度に代わる退職金共済等に加入している場合又は対象労働者がいない場合については、内容を記載した「確認書」(第4号様式(建退共))を契約締結後1箇月以内に監督員に提出すること。  
なお、当初請負代金額が500万円未満の場合においても本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係資料を提出しなければならない。
- (3) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、当該下請負者の建退共加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (4) 下請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合、元請負者は建退共加入手続及び建退共関係事務の処理について、下請負者からの依頼には積極的に受託するよう努めること。
- (5) 請負者は、工事現場に建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。
- (6) 正当な理由がなく建退共に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は工事成績評定において考慮される事となる。

## 11. 施工計画書の提出について

### (1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後速やかに監督員の指示に従って施工計画書を作成し提出すること。ただし、監督員が別に指示する場合を除いて、次のいずれかに該当する工事については、提出を要しない。

ア 当初請負代金額が500万円未満の工事、又は当初工期が60日未満の工事

イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事

ウ 工事内容に基づき、監督員が提出を要しないと判断した工事

### (2) 施工計画書の記載事項等

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 検査情報に記載（別表）のとおりとする。ただし、請負者は、施工計画書の提出を不要とした工事であっても、監督員が必要と指示する書面を速やかに提出すること。

### (3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

### (4) 実施工程との比較照査

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

## 12. ワンデーレスポンスの取り組みについて

(1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスポンスに取り組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

## 13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が随時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

## 14. 下請負者について

(1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。

(2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

## 15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

## 16. 技術的事項について（別紙）

# 施工条件明示事項

工事名 半原線馬渡橋導水管撤去工事(4)

1. 当該工事の施工条件明示事項欄の、下記表□内黒塗り部分が作業に当って、特に制約を受けることになるので明示する。  
又、明示されていない事項で請負者が、施工条件に該当すると思われる場合には、その都度監督員と協議すること。
2. 明示事項内容及び参考欄の内、参考と記載している箇所は見積り参考数値で、作業制約条件ではない。

明示項目	明示事項	明示事項内容及び参考																					
■ 工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期による影響																						
	<input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限 (準備工期の設定等)																						
	<input type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響	1) 交通管理者協議により、作業時間の制約があった場合は厳守すること。																					
	<input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間																						
	<input type="checkbox"/> 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数																						
□ 用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分																						
	<input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場の民有地等の借地																						
	<input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用																						
	<input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容																						
■ (公害・排水等) 周辺環境関係	<input checked="" type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策	1) 設計図書に示すとおり、排ガス対策型機械等を使用すること。																					
	<input type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設																						
	<input type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理対策																						
	<input type="checkbox"/> 事業損失防止関係																						
■ 安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定	1) 関係機関との協議により安全施設計画図に変更が生じた場合、監督員と別途協議する。																					
	<input type="checkbox"/> 近接工事での施工方法、作業時間等の制限																						
	<input type="checkbox"/> 落石、土砂崩落等に対する防護施設																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置	1) 交通誘導警備員 地元又は道路管理者等との調整により、配置体制に変更が生じた場合には、監督員と協議する。 ① 主な工種の配置体制 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <tr> <td style="font-size: small;">コンクリート構造物撤去工事</td> <td style="font-size: small;">1名/日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">既設铸铁管撤去工事</td> <td style="font-size: small;">1名/日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">路面復旧工事</td> <td style="font-size: small;">1名/日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 工事現場入口に配置すること。 ② 交通誘導警備員の資格 交通誘導警備員全て警備業法による警備員とすること。 2) 参考【見積り参考として、交通誘導警備員は延べ 6人を見込んでいる。】	コンクリート構造物撤去工事	1名/日						既設铸铁管撤去工事	1名/日						路面復旧工事	1名/日					
	コンクリート構造物撤去工事	1名/日																					
既設铸铁管撤去工事	1名/日																						
路面復旧工事	1名/日																						
<input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策																							

明示項目	明示事項	明示事項内容及び参考
□ 工事道路関係	□ 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	
	□ 搬入路の使用後及び使用後の処置	
	□ 仮設道路の設置	
	□ 一般道路の占用	
□ 仮設備関係	□ 仮設物(仮土留、足場等)の他工事への転用若しくは兼用	
	□ 仮設備の構造及び施工方法の指定	
	□ 仮設備の設計条件の指定	
■ 建設副産物関係	□ 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件	
	■ 建設副産物の現場内での再利用及び減量化	1) 設計図書に基づき、再生資材を使用する なお、使用に際し品質が適正なものであるか確認するものとする。 2) 掘削土は埋戻し材として利用すること。なお、仮置き場は、別途、指定する現場内とする。
	■ 建設副産物及び建設廃棄物の処理	1) 設計図書のとおりとし、受入条件については受入先条件による。
□ 薬液注入関係	□ 薬液注入工法の施工	
□ 工事物件支障等	□ 周辺環境への調査	
	□ 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	
	□ 地上、地下等の占用物件工事との重複施工	
■ その他	□ 工事用資機材の保管及び仮置き	
	■ 工事現場発生品	1) 設計図書に基づき、適切な処分を行うこと。 なお、配管残材及び撤去管等は処分先の受入書等の写しを監督員に提出すること。
	□ 支給材料及び貸与品	
	□ 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等	
	□ 架設工法の指定	
	□ 工事用水、電力等の指定	
	□ 新技術・新工法・特許工法の指定	
	□ 部分使用	
	□ 給水の必要	
	□ 電子納品対象工事特記仕様書	
□ その他		

## 半原線馬渡橋導水管撤去工事（4）特記仕様書

本工事の仕様は、当局水道工事共通仕様書（平成 28 年 10 月）、に定められたもののほか、当特記仕様書によるものとする。なお、共通仕様書内の付編Ⅱ及び付編Ⅲについては、水道工事共通仕様書 付編書式（平成 29 年 12 月）を参照すること。

### 1 工事コストの表示について

- (1) 工事請負額 1,000 万円以上の工事を対象とする。
- (2) 工事請負額の表示は、工事現場に設置する「工事看板」に表示する。
- (3) 表示金額は、万円単位など分かりやすい単位とする。

### 2 数値基準、単価世代及び積算参考資料について

数値基準、単価世代及び積算参考資料については、上下水道局ホームページ→事業者の皆さまへ→請負工事に関する各種書類のダウンロード→上水道→水道工事積算単価関係内の「【重要】数値基準等について」を参照すること。

### 3 共通単価について

共通単価については、上下水道局ホームページ→事業者の皆さまへ→請負工事に関する各種書類のダウンロード→上水道→水道工事積算単価関係内の「共通単価一覧表」（設計書摘要欄に記載のあるコード番号が A、B、K、L、N、P、R から始まるもの）を参照すること。

### 4 施工パッケージ型積算について

- (1) ダンプトラックの東京単価は、タイヤ損耗費及び補修費を含んだ金額が設定されているため、積算単価も建設機械等損料表の損料金額にタイヤ損耗費及び補修費を加算した金額で計上している。
- (2) 単価表摘要欄に「積算単価計上なし」と記載されている場合は積算単価を 0 円としている。
- (3) 表層工などの一位代価表の<条件区分>の[材料]、[○○規格]に記載している材料は、東京単価を算出するための代表材料を記載している。  
※材料の積算単価は、一位代価表の規格欄・摘要欄に記載した材料である。
- (4) 施工パッケージ型積算方式による一位代価表の積算注意事項は、局ホームページの「施工パッケージ型積算方式による積算」を参照すること。

### 5 工事に関することについて

#### (1) 掘削土の仮置き

掘削により発生する土砂は、現場内にて仮置きを行い、埋戻し材として流用すること。

### 6 舗装版切断時に発生する濁水の処理について

#### (1) 処理方法

舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

#### (2) 条件

請負者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

また、請負者が、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可

を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(3) 提出書類等

請負者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、請負者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。

また、請負者が濁水の収集運搬を委託した場合は、請負者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

なお、請負者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

7 建設副産物実態調査の作業手順（元請業者が行う）について

(1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページアドレス

<http://www.recycle.jacic.or.jp/> から建設副産物情報交換システムにログインする。

システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。

(2) 当初契約時点でのデータを入力する。（「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」の作成）

(3) CREDASの各種書類の印刷により、「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」を印刷し、施工計画書に添付する。

(4) 工事完成時に実施書（最終データに修正）に書き換える。

(5) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を印刷し、監督員に提出する。

(6) CREDASの各種書類の印刷により「再生資源利用(促進)実施書—建設リサイクルガイドライン様式—」を印刷し、監督員の確認を受ける。

(7) 完成図書に「再生資源利用(促進)実施書—建設リサイクルガイドライン様式—」を添付する。

8 基準書等の適用について

本工事は、以下の基準書等を使用し、積算している。

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1) 水道事業実務必携             | 平成 29 年度版        |
| 2) 土木工事標準積算基準書（土木工事編）   | 平成 29 年 7 月 1 日版 |
| 及び平成 30 年 1 月 1 日（一部改定） | ※県ホームページ参照       |
| 3) 積算参考資料（土木工事編）        | 平成 29 年 7 月 1 日版 |
| 4) 建設機械等損料表             | 平成 29 年度版        |

9 市場単価及び標準単価の端数処理について

市場単価及び標準単価方式による単価表の加算・補正後の金額は、円止めとします。なお、単価補正が行われた場合の単価についても円止め（小数点以下切り捨て）として計算し、数量×単価＝金額を算出しています。

10 その他

上記の内容について疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。



11 資材調書に計上されない資材の設計数量について

資材調書に計上されない資材の設計数量は、下表のとおりとする。

資材名	規格	単位	数量
生コンクリート（早強）	18-8-25（20） W/C 指定無し	m <sup>3</sup>	0.208
生コンクリート（高炉）	18-8-25(20) W/C 指定無し	m <sup>3</sup>	0.424

半原線馬渡橋導水管撤去工事（４）  
工 事 設 計 書

横 須 賀 市 上 下 水 道 局

平成 29 年度	工事番号	
工事名	半原線馬渡橋導水管撤去工事（４）	
ブロック番号		工事場所 愛甲郡愛川町田代地内
予算科目		
設計説明	<p>本工事は、上記地内における半原線導水管φ500mm鋳鉄管を撤去するものであり、工事概要は以下のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>コンクリート構造物撤去工事                    1式          既設鋳鉄管撤去工事 φ500                    7m          路面復旧工事                                    1式</p>	
	<p>工期            自    平成    年    月    日                            至    平成    年    月    日</p>	
工事施行方法	請 負	工事日数 70日

## 設計基本情報

### 設計情報

設計書番号	012900357
設計種別	当初設計
工事番号	
工事名	半原線馬渡橋導水管撤去工事（４）
ブロック番号	

### 諸経費情報

単価世代	平成 30年 3月 1日
諸経費の工種	開削工事及び小口径推進工事
施工地域補正	市街地
前払金支出割合	40%
契約保証費	なし
処分費控除	あり

## 本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
導水管撤去工事				式				/H
請負工事費								/H
直接工事費								/H
工事費								/H
		コンクリート構造物撤去工事		式	1			第 1 号内訳書参照 @U001
		既設鋳鉄管撤去工事	φ 500	式	1			第 2 号内訳書参照 @U002
		路面復旧工事		式	1			第 3 号内訳書参照 @U003
工事費 計								+3
直接工事費 計								++P
間接工事費								/H
共通仮設費								(しゅん工CAD図面含む) /H

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		共通仮設費		式	1			%07Kr
		仮設材運搬費	土留資材	式	1			第 4 号内訳書参照 @U011
		共通仮設費 計						+3K
		純工事費						++J
		現場管理費		式	1			%07Jo
		工事原価						++G
		一般管理費等						/H
		一般管理費等		式	1			%07Gp
		一般管理費等 計						+3
		スクラップ評価額		式	1			第 5 号内訳書参照 @U111
		工事価格						++T

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		消費税等相当額		式	1			%S8
		請負工事費 合計						++U

第 1 号内訳書 コンクリート構造物撤去工事

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
As舗装版切断工	As舗装厚15cm超30cm以下	m	20			第 1 号一位代価表参照 DP040036-J01
As舗装版切断工	As舗装厚15cm以下	m	12			第 2 号一位代価表参照 DP040036-J02
アスファルト舗装版切断濁水処理工	ダンプトラック 2 t 積級 運搬1回	式	1			第 3 号一位代価表参照 D332A1-J01
As舗装版破碎工	舗装15cm超40cm以下 障害等無 騒音振動対策不要 積込作業有	m2	21			第 4 号一位代価表参照 DP040035-J01
殻運搬工(舗装版破碎)	機械積込(騒音対策無15cm超又は騒音対策有) DID区間有 12.0km以下	m3	4.3			第 5 号一位代価表参照 DP020101-J01
廃材処分料	A s 殻 北部地区	m3	4.3			県単価・2018/01/01・101 Y0005
バックホウ掘削積込	山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	9.2			第 6 号一位代価表参照 DW400-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離10km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3	m3	9.2			第 7 号一位代価表参照 DW421-J01
廃材処分料	路盤材(上層・下層) 北部地区	m3	9.2			県単価・2018/01/01・102 Y0004
バックホウ掘削積込	山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	33.8			第 6 号一位代価表参照 DW400-J01
発生土処理	D I D 区間有り 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3	m3	33.8			第 8 号一位代価表参照 DW420-J01



名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土留工 (軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 矢板長3.0m 支保工 軽量金属	m	7			第 9 号一位代価表参照 Z0014
軽量鋼矢板賃料	コンクリート構造物	t	1.5			第 10 号一位代価表参照 Z0001
アルミ腹起し賃料	コンリート構造物取壊し 70~80×115~130×4,000	本	4			第 11 号一位代価表参照 Z0002
アルミ腹起し賃料	コンリート構造物取壊し 70~80×115~130×3,000	本	4			第 12 号一位代価表参照 Z0003
アルミギア式サポート賃料	コンクリート構造物撤去 2,640~3,200	本	8			第 13 号一位代価表参照 Z0004
歩車道境界ブロック撤去工	再利用	m	8			基礎ブロック 第 14 号一位代価表参照 DP040024-J01
歩車道境界ブロック撤去工	再利用	m	8			歩車道境界ブロック 第 14 号一位代価表参照 DP040024-J01
構造物とりこわし工	無筋構造物 人力施工 3m3未満	m3	0.4			第 15 号一位代価表参照 DS135-J02
殻運搬工 (Co(無筋・鉄筋)構造物 取壊し)	人力積込 DID区間有 10.5km以下	m3	0.4			第 16 号一位代価表参照 DP020101-J02
廃材処分料	無筋Co殻 北部地区	m3	0.4			県単価・2018/01/01・102 Y0003
構造物とりこわし工	無筋構造物 人力施工 3m3以上	m3	8.4			第 17 号一位代価表参照 DS135-J01

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬工(Co(無筋・鉄筋)構造物取壊し)	人力積込 DID区間有 10.5km以下	m3	8.4			第 16 号一位代価表参照 DP020101-J02
廢材処分料	無筋Co殻 北部地区	m3	8.4			県単価・2018/01/01・102 Y0003
積込工(ルーズ)	土砂 小規模(標準)	m3	33.8			第 18 号一位代価表参照 DP020007-J01
土砂等運搬工(小規模)	BH山積0.28m3(平積0.2m3)積込 DID区間有 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 0.2km以下	m3	33.8			第 19 号一位代価表参照 DP020002-J01
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	33.8			第 20 号一位代価表参照 DW412-J01
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	RC-40 厚木 山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	9.1			第 21 号一位代価表参照 DW412-J02
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	RC-40 厚木 山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	14.3			仮復旧 第 21 号一位代価表参照 DW412-J02
交通誘導警備員B(交替無)		人日				県単価・2018/03/01・労務2 R0011-001
計						

## 第 2 号内訳書

## 既設鉄管撤去工事

φ500

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
As舗装版破碎工	舗装15cm超40cm以下 障害等無 騒音振動対策不要 積込作業有	m <sup>2</sup>	3			第 4 号一位代価表参照 DP040035-J01
殻運搬工(舗装版破碎)	機械積込(騒音対策無15cm超又は騒音対策有) DID区間有 12.0km以下	m <sup>3</sup>	0.6			第 5 号一位代価表参照 DP020101-J01
廃材処分料	A s 殻 北部地区	m <sup>3</sup>	0.6			県単価・2018/01/01・101 Y0005
バックホウ掘削積込	山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	2.5			第 6 号一位代価表参照 DW400-J01
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離10km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	2.5			第 7 号一位代価表参照 DW421-J01
廃材処分料	路盤材(上層・下層) 北部地区	m <sup>3</sup>	2.5			県単価・2018/01/01・102 Y0004
バックホウ掘削積込	山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	6.2			第 6 号一位代価表参照 DW400-J01
発生土処理	D I D 区間有り 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	6.2			第 8 号一位代価表参照 DW420-J01
積込工(ルーズ)	土砂 小規模(標準)	m <sup>3</sup>	6.2			第 18 号一位代価表参照 DP020007-J01
土砂等運搬工(小規模)	BH山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )積込 DID区間有 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 0.2km以下	m <sup>3</sup>	6.2			第 19 号一位代価表参照 DP020002-J01
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	6.2			第 20 号一位代価表参照 DW412-J01

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	RC-40 厚木 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	1.3			第 21 号一位代価表参照 DW412-J02
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	RC-40 厚木 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	3.1			仮復旧 第 21 号一位代価表参照 DW412-J02
土留工(軽量鋼矢板たて込み)	機械施工 矢板長2.5m 支保工 軽量金属	m	5			第 22 号一位代価表参照 Z0015
軽量鋼矢板賃料	既設鑄鉄管撤去	t	1			第 23 号一位代価表参照 Z0005
アルミ腹起し賃料	既設鑄鉄管撤去 70~80×115~130×3,000	本	4			第 24 号一位代価表参照 Z0006
アルミ腹起し賃料	既設鑄鉄管撤去 70~80×115~130×2,000	本	4			第 25 号一位代価表参照 Z0007
アルミギア式サポート賃料	既設鑄鉄管撤去 720~1,130	本	8			第 26 号一位代価表参照 Z0008
鑄鉄管(F C)撤去切断工	呼び径500mm エンジンカッター エンジンカッター(既設管撤去用)	口	1			第 27 号一位代価表参照 DW090-J01
撤去鑄鉄管吊上げ積込み工(機械力)	呼び径500mm 油圧伸縮ジブ型 吊上能力4.9t吊	m	7			第 28 号一位代価表参照 DW093-J01
鑄鉄管継手取外し工(フランジ継手)	鑄鉄管 JWWA7.5K 呼び径500mm	口	2			第 29 号一位代価表参照 DW098-J01
鑄鉄製仕切弁撤去工(機械力)	縦型 呼び径500mm 油圧伸縮ジブ型 吊上能力4.9t吊	基	1			第 30 号一位代価表参照 DW0802-J01

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	片道運搬距離10km 平均積載質量2.023t クレーン装置付 ベーストラック4t積 吊能力2.9t	回				第 31 号一位代価表参照 DW002-J01
一般型枠工	鉄筋・無筋構造物	m2	1			第 32 号一位代価表参照 DP020104-J01
コンクリート工(18-8-25 (20) W/C指定無し)	無筋・鉄筋構造物 一般養生 大型車	m3	0.2			第 33 号一位代価表参照 DP020102-J01
交通誘導警備員B (交替無)		人日				県単価・2018/03/01・労務2 R0011-001
計						

## 第 3 号内訳書

## 路面復旧工事

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
As舗装版切断工	As舗装厚15cm超30cm以下	m	20			第 1 号一位代価表参照 DP040036-J01
As舗装版切断工	As舗装厚15cm以下	m	21			第 2 号一位代価表参照 DP040036-J02
アスファルト舗装版切断濁水処理工	ダンプトラック 2 t 積級 運搬1回	式	1			第 34 号一位代価表参照 D332A1-J02
As舗装版破碎工	舗装15cm超40cm以下 障害等無 騒音振動対策不要 積込作業有	m2	21			第 4 号一位代価表参照 DP040035-J01
As舗装版破碎工	舗装10cm以下 障害等無 騒音振動対策不要 積込作業有	m2	16			第 35 号一位代価表参照 DP040035-J02
殻運搬工(舗装版破碎)	機械積込(騒音対策無15cm超又は騒音対策有) DID区間有 12.0km以下	m3	4.7			第 5 号一位代価表参照 DP020101-J01
廃材処分料	A s 殻 北部地区	m3	4.7			県単価・2018/01/01・101 Y0005
As舗装版破碎工	舗装4cm超10cm以下 障害等有 積込作業有	m2	4			第 36 号一位代価表参照 DP040035-J03
殻運搬工(舗装版破碎)	人力積込 DID区間有 10.5km以下	m3	0.4			第 37 号一位代価表参照 DP020101-J03
廃材処分料	A s 殻 北部地区	m3	0.4			県単価・2018/01/01・101 Y0005
バックホウ掘削積込	山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	22.2			第 6 号一位代価表参照 DW400-J01

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離10km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	22.2			第 7 号一位代価表参照 DW421-J01
廃材処分料	路盤材(上層・下層) 北部地区	m <sup>3</sup>	22.2			県単価・2018/01/01・102 Y0004
下層路盤工(施工幅1.8m以上)	全仕上り厚25cm 転圧回数2層 RC-40	m <sup>2</sup>	41			第 38 号一位代価表参照 DW431-J01*
上層路盤工(施工幅1.8m以上)	全仕上り厚15cm 転圧回数1層 RM-40	m <sup>2</sup>	41			第 39 号一位代価表参照 DW431-J02*
歩車道境界ブロック再利用設置工	片面 180/205×250×600(B) 18-8-25 (20) W/C指定無し 養生工有 大型車	m	8			基礎ブロック 第 40 号一位代価表参照 DP040022-J01
歩車道境界ブロック再利用設置工	片面 180/205×250×600(B)	m	8			歩車道境界ブロック 第 41 号一位代価表参照 DP040022-J02
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 大型車 再生AS安定処理(40)	m <sup>2</sup>	45			第 42 号一位代価表参照 DW440-J01*
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 大型車 再生AS安定処理(40)	m <sup>2</sup>	45			第 43 号一位代価表参照 DW440-J02*
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 大型車 再生粗粒度AS混合物(20)	m <sup>2</sup>	50			第 44 号一位代価表参照 DW440-J03*
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 仕上り厚50mm 大型車 再生密粒度AS混合物(13)	m <sup>2</sup>	50			第 45 号一位代価表参照 DW440-J04*
不陸修正工(施工幅1.8m以上)	路盤材修正厚3cm	m <sup>2</sup>	16			第 46 号一位代価表参照 DW432-J01*

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装工(人力施工)	歩道 仕上り厚30mm 大型車 再生密粒度AS混合物(13)	m <sup>2</sup>	16			第 47 号一位代価表参照 DW440-J05*
交通誘導警備員B(交替無)		人日				県単価・2018/03/01・労務2 R0011-001
計						



## 第 4 号 内訳書

## 仮設材運搬費

土留資材

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材運搬用積み卸し費	基地～現場～基地	t	1.9			実務必携・平成29年度版・14 P0057
材料運搬基本単価	距離10kmまで 製品長12m以内	t	1.9			実務必携・平成29年度版・13 P0059
仮設材運搬用積み卸し費	基地～現場～基地	t	1.2			実務必携・平成29年度版・14 P0057
材料運搬基本単価	距離10kmまで 製品長12m以内	t	1.2			実務必携・平成29年度版・13 P0059
計						

## 第 5 号内訳書

## スクラップ評価額

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクラップ費	鑄鉄管 (ライニング有)	kg	1,043			局独自 K5101
スクラップ費	鑄鉄類 (ライニング無)	kg	980			局独自 K5102
計						

第 1 号 一位代価表 As舗装版切断工

As舗装厚15cm超30cm以下

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	15.69			/H
コンクリートカッタ	パキューム式・湿式 切削30cm級 径75cm 超低騒音型	%	10.06			11-61-215-030-1 H02760T
労務構成比		%	48.41			/H
特殊作業員		%	16.61			県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
普通作業員		%	14.44			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
材料構成比		%	35.9			/H
コンクリートカッタ (ブレード)	径30インチ	%	32.31			県単価・2018/01/01・107 CM0021
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	%	2.3			県単価・2018/01/01・100 CT6910
	1 m 当り					

DP040036

<条件区分>

[舗装版種別]=アスファルト舗装版, [アスファルト舗装版厚]=15cmを超え30cm以下

第 2 号 一位代価表 As舗装版切断工

As舗装厚15cm以下

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	7.02			/H
コンクリートカッタ	パキウム式・湿式 切削20cm級 径56cm	%	4.5			11-61-211-020-1 H02750T
労務構成比		%	54.79			/H
特殊作業員		%	18.79			県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
普通作業員		%	16.35			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
材料構成比		%	38.19			/H
コンクリートカッタ (ブレード)	径22インチ	%	35.44			県単価・2018/01/01・107 CM0019
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	%	1.76			県単価・2018/01/01・100 CT6910
	1 m 当り					

DP040036

<条件区分>

[舗装版種別]=アスファルト舗装版, [アスファルト舗装版厚]=15cm以下

## 第 3 号 一位代価表 アスファルト舗装版切断濁水処理工

ダンプトラック 2 t 積級 運搬1回

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断濁水運搬費	ダンプトラック 2 t 積級	回				県単価・2018/01/01・101 CZ0500
舗装版切断濁水処分費 (北部地区)	アスファルト舗装版 処分費の対象	m3	0.1			県単価・2018/01/01・101 CZ0400-020
計	1 式 当り					

D332A1

[運搬機種]=ダンプトラック 2 t 積級, [アスファルト舗装版切断濁水処分費(m3)]=CZ0400-020, [コンクリート舗装版切断濁水処分費(m3)]=計上しない  
 [アスファルト舗装版切断濁水発生量(m3)]=0.1, [コンクリート舗装版切断濁水発生量(m3)]=0, [公害対策機種]=基準書指定, [低騒音機種]=基準書指定

濁水運搬回数 (切断濁水発生量直接指定)

$$K = (V * 1.1) / t$$

$$= (0.1 * 1.1) / 2 = 0.055$$

K:濁水運搬回数(回) = 1 (小数第1位切り上げ)

V:舗装版切断濁水発生量(m3) = 0.1

t:濁水運搬費ダンプトラック規格(t積級) = 2

発生濁水量

$$V = [\text{アスファルト舗装版切断濁水発生量}]$$

=0.1

第 4 号 一位代価表 As舗装版破碎工

舗装15cm超40cm以下  
障害等無 騒音振動対策不要 積込作業有

※施工パッケージ単価  
(IV-3-②-3) DP040035-J01  
1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	19.36			/H
バックホウ(クラ型)賃料	標準型 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第2次基準値)	%	11.98			県単価・2018/01/01・116 H11676R
大型ブレーカ(ベースマシン含まず)	油圧式 600~800kg級	%	6.82			06-04-077-208-1 H34890T
労務構成比		%	73.92			/H
運転手(特殊)		%	30.47			県単価・2018/03/01・労務1 CR0140
普通作業員		%	27.01			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
土木一般世話役		%	14.29			県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
材料構成比		%	6.72			/H
軽油	1. 2号 パトロール給油	%	6.53			県単価・2018/01/01・100 CT6912
	1 m2 当り					

※施工パッケージ単価

DP040035-J01

第 4 号 付 属 1

DP040035

<条件区分>

[舗装版種別]=アスファルト舗装版, [障害等の有無]=無し, [騒音振動対策]=不要, [舗装版厚]=15cmを超え40cm以下, [積込作業の有無]=有り

機械積込(騒音対策無15cm超又は騒音対策有)  
DID区間有 12.0km以下

1 m3 当り

第 5 号 一位代価表 殻運搬工(舗装版破碎)

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	49.71			/H
ダンプトラック	オノロト・ディーゼル 10t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	49.71			03-01-011-110-1 H16110T
労務構成比		%	37.76			/H
運転手(一般)		%	37.76			県単価・2018/03/01・労務1 CR0150
材料構成比		%	12.53			/H
軽油	1. 2号 パトロール給油	%	12.53			県単価・2018/01/01・100 CT6912
						1 m3 当り

DP020101

<条件区分>

[殻発生作業]=舗装版破碎, [積込工法区分]=機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm超)または(騒音対策必要), [DID区間の有無]=有り, [運搬距離]=12.0km以下  
[路面状態]=良好



## 第 6 号 一位代価表 バックホウ掘削積込

山積0.45m3(平積0.35m3)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 48 号一位代価表参照 J1167-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

DW400

[バックホウの規格]=山積0.45m3(平積0.35m3), [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 7 号 一位代価表 発生土運搬費

D I D 区間有り 運搬距離10km 良好  
ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3

(実務必携 P.164)

DW421-J01

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オロード・テーブル 4t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 49 号一位代価表参照 J1603-J01
諸雑費		式	1			#99
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

DW421

[運搬機種・積込機種]=ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=10, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定  
[路面状態]=良好

第 8 号 一位代価表 発生土処理

D I D 区間有り 運搬距離0.2km 良好  
 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3

(実務必携 P.164)

DW420-J01

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
発生土運搬費	D I D 区間有り 運搬距離0.2km 良好 ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3	m3	1			第 50 号一位代価表参照 DW421-J03
諸雑費		式	1			#99
計	1 m3 当り					

DW420

[運搬機種・積込機種]=ダンプトラック4 t 積 バックホウ山積0.45m3, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=0.2, [処分費(m3)]=計上しない, [公害対策機種]='基準書指定'  
 [低騒音機種]=基準書指定, [路面状態]=良好

## 第 9 号 一位代価表 土留工 (軽量鋼矢板たて込み)

機械施工 矢板長3.0m  
支保工 軽量金属

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)	機械施工 矢板長3.0m	m	100			第 51 号一位代価表参照 Z0009
軽量鋼矢板引抜き工 (両側分)	機械施工 矢板長3.0m	m	100			第 52 号一位代価表参照 Z0010
軽量金属製支保設置撤去工	2段 3.5m以下 軽量金属腹起し材 ねじ式パイプサポート	m	100			第 53 号一位代価表参照 Z0011
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

## 第 10 号 一位代価表 軽量鋼矢板賃料

コンクリート構造物

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板賃料	軽量1型 90日以内	t/日	5			局独自・2018/01/01・113 1 Y0002
修理費及び損耗費	軽量鋼矢板1型 軽作業	t	1			県単価・2018/01/01・113 1 Y0001
計	1 t 当り					

## 第 11 号 一位代価表 アルミ腹起し賃料

コンリート構造物取壊し  
70~80×115~130×4,000

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ腹起し (賃料)	70~80×115~130×4,000	本/日	5			局独自 1 Y0010
アルミ腹起し基本料	70~80×115~130×4,000	本	1			局独自 1 Y0011
計	1本 当り					

## 第 12 号 一位代価表 アルミ腹起し賃料

コンリート構造物取壊し  
70~80×115~130×3,000

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ腹起し賃料	70~80×115~130×3,000	本/日	5			局独自 1 Y0008
アルミ腹起し基本料	70~80×115~130×3,000	本	1			局独自 1 Y0009
計	1本 当り					

## 第 13 号 一位代価表 アルミギア式サポート賃料

コンクリート構造物撤去  
2,640~3,200

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミギア式サポート賃料	2,640~3,200	本/日	5			局独自 Y0014
アルミギア式サポート基本料	2,640~3,200	本	1			局独自 Y0015
計	1 本 当り					



第 14 号 一位代価表 歩車道境界ブロック撤去工

再利用

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	5.14			/H
超小旋回バックホウ(クロー型)賃料	標準バケット容量 山積0.22m3(平積0.16m3) 排出ガス対策型(第1次基準値)	%	5.14			県単価・2018/01/01・116 H99053R
労務構成比		%	93.5			/H
普通作業員		%	30.4			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
土木一般世話役		%	17.64			県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
ブロック工		%	17.26			県単価・2018/03/01・労務1 CR0080
運転手(特殊)		%	17.11			県単価・2018/03/01・労務1 CR0140
材料構成比		%	1.36			/H
軽油	1.2号 パトロール給油	%	1.36			県単価・2018/01/01・100 CT6912
	1 m 当り					

※施工パッケージ単価

DP040024-J01

第 14 号 付 属 1

DP040024

<条件区分>

[再利用区分]=再利用

## 第 15 号 一位代価表 構造物とりこわし工

無筋構造物 人力施工 3m3未満

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし工	無筋構造物 人力施工 手間のみ	m3	1			県単価・2018/01/01・136 CS1512
諸雑費		式	1			#99
計	1 m3 当り					

DS135

[構造物とりこわし工 市場単価(m3)]=CS1512, [施工規模]=3m3未満, [時間的制約]=なし, [夜間作業]=なし, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

全体補正值の算定 (人力施工)

$$\text{補正值} = (1 + S/100) * (K1 * K2)$$

$$= (1 + 20/100) * (1 * 1) = 1.2$$

S : 施工規模による加算率 = 20 %

K1 : 時間的制約による補正係数 = 1

K2 : 夜間作業による補正係数 = 1

第 16 号 一位代価表 殻運搬工(Co(無筋・鉄筋)構造物取壊し)

人力積込  
DID区間有 10.5km以下

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	20.89			/H
ダンプトラック	オノロード・ディーゼル 2t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	20.89			03-01-011-020-1 H16010T
労務構成比		%	71.54			/H
運転手(一般)		%	71.54			県単価・2018/03/01・労務1 CR0150
材料構成比		%	7.57			/H
軽油	1. 2号 パトロール給油	%	7.57			県単価・2018/01/01・100 CT6912
		1 m3 当り				

DP020101

<条件区分>

[殻発生作業]=コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし, [積込工法区分]=人力積込, [DID区間の有無]=有り, [運搬距離]=10.5km以下, [路面状態]=良好

## 第 17 号 一位代価表 構造物とりこわし工

無筋構造物 人力施工 3m3以上

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし工	無筋構造物 人力施工 手間のみ	m3	1			県単価・2018/01/01・136 CS1512
諸雑費		式	1			#99
計	1 m3 当り					

DS135

[構造物とりこわし工 市場単価(m3)]=CS1512, [施工規模]=3m3以上, [時間的制約]=なし, [夜間作業]=なし, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

全体補正值の算定 (人力施工)

$$\begin{aligned} \text{補正值} &= (1+S/100) * (K1*K2) \\ &= (1+0/100) * (1*1) = 1 \end{aligned}$$

S : 施工規模による加算率 = 0 %

K1: 時間的制約による補正係数 = 1

K2: 夜間作業による補正係数 = 1

第 18 号 一位代価表 積込工(ルーズ)

土砂 小規模(標準)

※施工パッケージ単価  
(Ⅱ-1-②-26) DP020007-J01  
1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	32.6			/H
バックホウ(クローラ型)	標準型 山積0.28m3(平積0.2m3) 排出ガス対策型(第2次基準値)	%	32.6			02-02-113-020-1 H11666T
労務構成比		%	58.13			/H
運転手(特殊)		%	58.13			県単価・2018/03/01・労務1 CR0140
材料構成比		%	9.27			/H
軽油	1. 2号 パトロール給油	%	9.27			県単価・2018/01/01・100 CT6912
	1 m3 当り					

DP020007

<条件区分>

[土質]=土砂, [作業内容]=小規模(標準)

第 19 号 一位代価表 土砂等運搬工(小規模)

BH山積0.28m3(平積0.2m3)積込 DID区間有  
土砂(岩塊・玉石混り土含む) 0.2km以下

※施工パッケージ単価  
(Ⅱ-1-②-18) DP020002-J01  
1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	27.43			/H
ダンプトラック	オロード・ディーゼル 4t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	27.43			03-01-011-040-1 H16030T
労務構成比		%	62.37			/H
運転手(一般)		%	62.37			県単価・2018/03/01・労務1 CR0150
材料構成比		%	10.2			/H
軽油	1. 2号 パトロール給油	%	10.2			県単価・2018/01/01・100 CT6912
	1 m3 当り					

DP020002

<条件区分>

[土砂等発生現場]=小規模, [積込機種・規格]=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3), [土質]=土砂(岩塊・玉石混り土含む), [DID区間の有無]=有り, [運搬距離]=0.2km以下  
[路面状態]=良好

第 20 号 一位代価表 管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)

(実務必携 P. 151)

DW412-J01

山積0.45m3(平積0.35m3)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				現場での指揮・指導 県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				機械投入に伴う補助労務 県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
普通作業員		人				締固め補助 県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 48 号一位代価表参照 J1167-J01
タンパ運転	質量60~80kg	日				第 54 号一位代価表参照 J3952-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

DW412

[バックホウの規格]=山積0.45m3(平積0.35m3), [埋戻材料費(m3)]=計上しない, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定



第 21 号 一位代価表 管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)

RC-40 厚木  
山積0.45m3(平積0.35m3)

(実務必携 P.151)

DW412-J02

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				現場での指揮・指導 県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
普通作業員		人				機械投入に伴う補助労務 県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
普通作業員		人				締固め補助 県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				第 48 号一位代価表参照 J1167-J01
タンパ運転	質量60~80kg	日				第 54 号一位代価表参照 J3952-J01
再生クラッシャーラン	RC-40 厚木	m3	127			県単価・2018/01/01・40 Y0018
諸雑費		式	1			#99
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

DW412

[バックホウの規格]=山積0.45m3(平積0.35m3), [埋戻材料費(m3)]=Y0018;数量=127, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 22 号 一位代価表 土留工 (軽量鋼矢板たて込み)

機械施工 矢板長2.5m  
支保工 軽量金属

Z0015

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)	機械施工 矢板長2.5m	m	100			第 55 号一位代価表参照 Z0012
軽量鋼矢板引抜工 (両側分)	機械施工 矢板長3.0m	m	100			第 56 号一位代価表参照 Z0013
軽量金属製支保設置撤去工	2段 3.5m以下 軽量金属腹起し材 ねじ式パイプサポート	m	100			第 53 号一位代価表参照 Z0011
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

## 第 23 号 一位代価表 軽量鋼矢板賃料

既設鑄鉄管撤去

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板賃料	軽量 1 型 90日以内	t/日	2			局独自・2018/01/01・113 1 Y0002
修理費及び損耗費	軽量鋼矢板 1 型 軽作業	t	1			県単価・2018/01/01・113 1 Y0001
計	1 t 当り					

## 第 24 号 一位代価表 アルミ腹起し賃料

既設鋳鉄管撤去  
70~80×115~130×3,000

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ腹起し賃料	70~80×115~130×3,000	本/日	2			局独自 1 Y0008
アルミ腹起し基本料	70~80×115~130×3,000	本	1			局独自 1 Y0009
計	1本 当り					

第 25 号 一位代価表 アルミ腹起し賃料

既設鋳鉄管撤去  
70~80×115~130×2,000

Z0007

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ腹起し賃料	70~80×115~130×2,000	本/日	2			局独自 Y0006
アルミ腹起し基本料	70~80×115~130×2,000	本	1			局独自 Y0007
計	1 本 当り					

第 26 号 一位代価表 アルミギア式サポート賃料

既設鋳鉄管撤去  
720～1,130

Z0008

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミギア式サポート賃料	720～1,130	本/日	2			局独自 Y0012
アルミギア式サポート基本料	720～1,130	本	1			局独自 Y0013
計	1本 当り					

第 27 号 一位代価表 鋳鉄管 (F C) 撤去切断工

呼び径500mm エンジンカッター  
 エンジンカッター (既設管撤去用)

(実務必携 P. 80, P. 94)

DW090-J01

1 口 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
普通作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
鋳鉄管切断機損料	エンジンカッター (既設管撤去用)	日				局独自 K0301
諸雑費		式	1			#09
計	1 口 当り					

DW090

[材質]=鋳鉄管 (F C), [呼び径(mm)]=500, [切断機種別]=エンジンカッター, [切断機損料(日)]=K0301, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 28 号 一位代価表 撤去鑄鉄管吊上げ積込み工 (機械力)

呼び径500mm  
油圧伸縮ジャブ型 吊上能力4.9t吊

(実務必携 P. 45, P. 96)

DW093-J01

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0350
普通作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジャブ型 吊上能力4.9t吊	日				県単価・2018/01/01・119 H17910R
諸雑費		式	1			#99
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

DW093

[呼び径(mm)]=500, [呼び径350mm以下の吊込み機械]=トラッククレーン油圧伸縮ジャブ型4.9t吊, [埋設物]=少ない, [作業帯]=良好, [公害対策機種]='基準書指定'  
[低騒音機種]=基準書指定



第 29 号 一位代価表 鋳鉄管継手取外し工 (フランジ継手)

鋳鉄管 JWWA7.5K 呼び径500mm

1 口 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0350
普通作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
諸雑費		式	1			#09
計	1 口 当り					

DW098  
[管種]=鋳鉄管 JWWA7.5K, [呼び径(mm)]=500, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 30 号 一位代価表 鋳鉄製仕切弁撤去工 (機械力)

縦型 呼び径500mm  
油圧伸縮ジャブ型 吊上能力4.9t吊

(実務必携 P.87)

DW0802-J01

1 基 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0350
普通作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジャブ型 吊上能力4.9t吊	日				県単価・2018/01/01・119 H17910R
諸雑費		式	1			#99
計	1 基 当り					

DW0802  
[作業区分]=撤去, [据付区分]=縦型, [呼び径(mm)]=500, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 31 号 一位代価表 現場発生品及び支給品運搬

片道運搬距離10km 平均積載質量2.023t  
クレーン装置付 べーstrラック4t積 吊能力2.9t

(実務必携 P.26)

DW002-J01

1 回 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
トラック運転	クレーン装置付 べーstrラック4t積 吊能力2.9t	h				第 57 号一位代価表参照 J1674-J01
諸雑費		式	1			#99
計	1回 当り					

DW002

[片道運搬距離(km)]=10, [運搬一回当り平均積載質量(t)]=2.023, [トラック運転(h)]=クレーン装置付 べーstrラック4t積 吊能力2.9t, [公害対策機種]='基準書指定'  
[低騒音機種]=基準書指定

第 32 号 一位代価表 一般型枠工

鉄筋・無筋構造物

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	100			/H
型わく工		%	47.68			県単価・2018/03/01・労務1 CR0320
普通作業員		%	24.73			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
土木一般世話役		%	8.9			県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
	1 m2 当り					

DP020104

<条件区分>

[型枠の種類]=一般型枠, [構造物の種類]=鉄筋・無筋構造物

第 33 号 一位代価表 コンクリート工(18-8-25 (20) W/C指定無し)

無筋・鉄筋構造物 一般養生 大型車

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	32.33			/H
普通作業員		%	14.89			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
特殊作業員		%	8.7			県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
土木一般世話役		%	6.36			県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
材料構成比		%	67.67			/H
生コンクリート (早強)	18-8-25 (20) W/C指定無し 厚木 大型車	%	67.67			県単価・2018/01/01・28 Y0016
	1 m3 当り					

DP020102

<条件区分>

[構造物種別]=無筋・鉄筋構造物, [施工条件]=打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下, [コンクリート規格]=24-8-25(20)(高炉), [養生工の種類]=一般養生  
[現場内小運搬の有無]=無し, [小型車割増の有無]=無し

## 第 34 号 一位代価表 アスファルト舗装版切断濁水処理工

ダンプトラック 2 t 積級 運搬1回

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断濁水運搬費	ダンプトラック 2 t 積級	回				県単価・2018/01/01・101 CZ0500
舗装版切断濁水処分費 (北部地区)	アスファルト舗装版 処分費の対象	m3	0.143			県単価・2018/01/01・101 CZ0400-020
計	1 式 当り					

D332A1

[運搬機種]=ダンプトラック 2 t 積級, [アスファルト舗装版切断濁水処分費 (m3)]=CZ0400-020, [コンクリート舗装版切断濁水処分費 (m3)]=計上しない  
 [アスファルト舗装版切断濁水発生量 (m3)]=0.143, [コンクリート舗装版切断濁水発生量 (m3)]=0, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

濁水運搬回数 (切断濁水発生量直接指定)

$$K = (V * 1.1) / t$$

$$= (0.143 * 1.1) / 2 = 0.079$$

K: 濁水運搬回数 (回) = 1 (小数第1位切り上げ)

V: 舗装版切断濁水発生量 (m3) = 0.143

t: 濁水運搬費ダンプトラック規格 (t 積級) = 2

発生濁水量

$$V = [\text{アスファルト舗装版切断濁水発生量}]$$

$$= 0.143$$

第 35 号 一位代価表 As舗装版破碎工

舗装10cm以下

障害等無 騒音振動対策不要 積込作業有

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	8.85			/H
バックホウ(クローラ型)賃料	標準型 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第2次基準値)	%	8.85			県単価・2018/01/01・116 H11676R
労務構成比		%	85.77			/H
普通作業員		%	40.11			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
土木一般世話役		%	23.18			県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
運転手(特殊)		%	22.48			県単価・2018/03/01・労務1 CR0140
材料構成比		%	5.38			/H
軽油	1. 2号 パトロール給油	%	5.38			県単価・2018/01/01・100 CT6912
	1 m2 当り					

DP040035

<条件区分>

[舗装版種別]=アスファルト舗装版, [障害等の有無]=無し, [騒音振動対策]=不要, [舗装版厚]=10cm以下, [積込作業の有無]=有り

第 36 号 一位代価表 As舗装版破碎工

舗装4cm超10cm以下  
障害等有 積込作業有

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	2.21			/H
空気圧縮機賃料	可搬式・エンジン駆動・スクュ型 3.5~3.7m3/min 排出ガス対策型(第1次基準値)	%	1.74			県単価・2018/01/01・118 H45750R
コンクリートブレーカ	20kg級	%	0.47			06-03-067-020-1 H34790T
労務構成比		%	95.38			/H
特殊作業員		%	52.22			県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
普通作業員		%	43.16			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
材料構成比		%	2.41			/H
軽油	1. 2号 パトロール給油	%	2.41			県単価・2018/01/01・100 CT6912
	1 m2 当り					

DP040035

<条件区分>

[舗装版種別]=アスファルト舗装版, [障害等の有無]=有り, [舗装版厚]=4cmを超え10cm以下, [積込作業の有無]=有り



第 37 号 一位代価表 殻運搬工(舗装版破碎)

人力積込

DID区間有 10.5km以下

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	20.89			/H
ダンプトラック	ホロード・ディーゼル 2t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	20.89			03-01-011-020-1 H16010T
労務構成比		%	71.54			/H
運転手(一般)		%	71.54			県単価・2018/03/01・労務1 CR0150
材料構成比		%	7.57			/H
軽油	1. 2号 パトロール給油	%	7.57			県単価・2018/01/01・100 CT6912
		1 m3 当り				

DP020101

<条件区分>

[殻発生作業]=舗装版破碎, [積込工法区分]=人力積込, [DID区間の有無]=有り, [運搬距離]=10.5km以下, [路面状態]=良好

第 38 号 一位代価表 下層路盤工 (施工幅1.8m以上)

全仕上り厚25cm 転圧回数2層  
RC-40

DW431-J01\*

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人	1.42			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40 厚木	m3	31.75			県単価・2018/01/01・40 Y0018
振動ローラ運転	舗装用 搭乗・コンバインド式 質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	日	0.4			第 58 号一位代価表参照 J3945-J01
タンパ運転	質量60~80kg	日	0.4			第 59 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

第 39 号 一位代価表 上層路盤工 (施工幅1.8m以上)

全仕上り厚15cm 転圧回数1層  
RM-40

DW431-J02\*

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人	0.71			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
再生粒度調整碎石	RM-40 厚木	m3	19.05			県単価・2018/01/01・41 Y0019
振動ローラ運転	舗装用 搭乗・コンパイル式 質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	日	0.2			第 58 号一位代価表参照 J3945-J01
タンバ運転	質量60~80kg	日	0.2			第 59 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

第 40 号 一位代価表 歩車道境界ブロック再利用設置工

片面 180/205×250×600(B)  
18-8-25 (20) W/C指定無し 養生工有 大型車

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	85.81			/H
普通作業員		%	25.89			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
ブロック工		%	19.61			県単価・2018/03/01・労務1 CR0080
型わく工		%	16.52			県単価・2018/03/01・労務1 CR0320
土木一般世話役		%	12.96			県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
材料構成比		%	14.19			/H
生コンクリート (高炉)	18-8-25 (20) W/C指定無し 厚木 大型車	%	14.19			県単価・2018/04/01・28 Y0017
	1 m 当り					

DP040022

<条件区分>

[作業区分]=再利用設置, [ブロック規格]=各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満), [基礎碎石の有無]=無し  
[均し基礎コンクリート規格]=18-8-25(高炉), [養生工の有無]=有り, [小型車割増の有無]=無し

第 41 号 一位代価表 歩車道境界ブロック再利用設置工

片面 180/205×250×600(B)

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	100			/H
ブロック工		%	38.38			県単価・2018/03/01・労務1 CR0080
普通作業員		%	33.76			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
土木一般世話役		%	19.61			県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
	1 m 当り					

DP040022

<条件区分>

[作業区分]=再利用設置, [ブロック規格]=B種(180/205×250×600), [基礎碎石の有無]=無し, [均し基礎コンクリート規格]=不要

第 42 号 一位代価表 舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 大型車  
再生AS安定処理(40)

DW440-J01\*

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.4			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人	0.8			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
普通作業員		人	1.6			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
再生アスファルト安定処理材	再生As安定処理(40) 厚木	t	12.573			1 県単価・2018/01/01・58 Y0020
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	L	126			1 県単価・2018/01/01・61 CT2209
振動ローラ運転	舗装用 ハトガト式 質量0.5~0.6t	日	0.4			1 第 60 号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンパクト運転	前進型 質量40~60kg	日	0.8			1 第 61 号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費		%	17			(1) #09
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

第 43 号 一位代価表 舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 大型車  
再生AS安定処理(40)

DW440-J02\*

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.4			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人	0.8			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
普通作業員		人	1.6			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
再生アスファルト安定処理材	再生As安定処理(40) 厚木	t	12.573			1 県単価・2018/01/01・58 Y0020
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	L	43			1 県単価・2018/01/01・61 CT2210
振動ローラ運転	舗装用 ハトがト式 質量0.5~0.6t	日	0.4			1 第 60 号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンパクタ運転	前進型 質量40~60kg	日	0.8			1 第 61 号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費		%	17			(1) #09
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

第 44 号 一位代価表 舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 大型車  
再生粗粒度AS混合物(20)

DW440-J03\*

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.4			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人	0.8			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
普通作業員		人	1.6			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
再生アスファルト混合物	再生粗粒度As混合物(20) 厚木	t	12.573			1 県単価・2018/01/01・54 Y0021
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	L	43			1 県単価・2018/01/01・61 CT2210
振動ローラ運転	舗装用 ハトがけ式 質量0.5~0.6t	日	0.4			1 第 60 号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンパクタ運転	前進型 質量40~60kg	日	0.8			1 第 61 号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費		%	17			(1) #09
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					



第 45 号 一位代価表 舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚50mm 大型車  
再生密粒度AS混合物(13)

DW440-J04\*

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.4			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人	0.8			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
普通作業員		人	1.6			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
再生アスファルト混合物	再生密粒度As混合物(13) 厚木	t	12.573			1 県単価・2018/01/01・54 Y0022
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	L	43			1 県単価・2018/01/01・61 CT2210
振動ローラ運転	舗装用 ハトが伏式 質量0.5~0.6t	日	0.4			1 第 60 号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンパクタ運転	前進型 質量40~60kg	日	0.8			1 第 61 号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費		%	17			(1) #09
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

## 第 46 号 一位代価表 不陸整正工 (施工幅1.8m以上)

路盤材整正厚3cm

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人	0.58			県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
再生クラッシャーラン	RC-40 厚木	m3	3.81			県単価・2018/01/01・40 Y0018
振動ローラ運転	舗装用 搭乗・コンバインド式 質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	日	0.16			第 58 号一位代価表参照 J3945-J01
タンバ運転	質量60~80kg	日	0.16			第 59 号一位代価表参照 J3952-J02
諸雑費		式	1			#99
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

第 47 号 一位代価表 舗装工(人力施工)

歩道 仕上り厚30mm 大型車  
再生密粒度AS混合物(13)

100 m2 当り

DW440-J05\*

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.4			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0240
特殊作業員		人	0.8			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
普通作業員		人	1.6			1 県単価・2018/03/01・労務1 CR0020
再生アスファルト混合物	再生密粒度As混合物(13) 厚木	t	7.26			1 県単価・2018/01/01・54 Y0022
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	L	126			1 県単価・2018/01/01・61 CT2209
振動ローラ運転	舗装用 ハンドガイト式 質量0.5~0.6t	日	0.4			1 第 60 号一位代価表参照 J3926-J01
振動コンパクタ運転	前進型 質量40~60kg	日	0.4			1 第 61 号一位代価表参照 J3963-J01
諸雑費		%	19			(1) #09
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

第 48 号 一位代価表 バックホウ(ｸｰﾗｰ型)運転

標準型 山積0.45m3(平積0.35m3)  
 排出ガス対策型(第1次基準値)

1 h 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0140
軽油	1. 2号 パトロール給油	L	9.2			県単価・2018/01/01・100 CT6912
バックホウ(ｸｰﾗｰ型)	標準型 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1次基準値)	h				02-02-112-035-1 H11670S
諸雑費		式	1			#99
計						1 h 当り

機一1, [労務数量]=0.16, [燃料消費量]=9.2, [損料数量]=1, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

第 49 号 一位代価表 ダンプトラック運転

ホロト・ディーゼル 4t積級  
 タイヤ損耗(良好)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(一般)		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0150
軽油	1. 2号 パトロール給油	L	34			県単価・2018/01/01・100 CT6912
ダンプトラック	ホロト・ディーゼル 4t積級	供用日				03-01-011-040-1 H16030T
タイヤ損耗費	4t 良好	供用日				建設機械等損料表47 H82110T
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一 2 2, [労務数量]=1, [燃料消費量]=34, [損料数量]=1.22, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定, [路面状態]=良好

第 50 号 一位代価表 発生土運搬費

D I D 区間有り 運搬距離0.2km 良好  
 ダンプトラック4 t 積 ハックホ山積0.45m3

(実務必携 P.164)

DW421-J03

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	オロート・ティール 4t積級 タイヤ損耗(良好)	日				第 49 号一位代価表参照 J1603-J01
諸雑費		式	1			#99
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

DW421

[運搬機種・積込機種]=ダンプトラック4 t 積 ハックホ山積0.45m3, [D I D 区間]=有り, [運搬距離(km)]=0.2, [公害対策機種]=' 基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定  
 [路面状態]=良好

## 第 51 号 一位代価表 軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)

機械施工 矢板長3.0m

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
世話役 (一般)		人	4.1			県単価・2018/03/01・労務1 R0001
特殊作業員		人	4.1			県単価・2018/03/01・労務1 R0004
普通作業員		人	12.4			県単価・2018/03/01・労務1 R0008
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) 排出ガス対策型(第1次基準値)	h	19.2			第 48 号一位代価表参照 J1167-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

## 第 52 号 一位代価表 軽量鋼矢板引抜工 (両側分)

機械施工 矢板長3.0m

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
世話役 (一般)		人	2.7			県単価・2018/03/01・労務1 R0001
特殊作業員		人	2.7			県単価・2018/03/01・労務1 R0004
普通作業員		人	5.4			県単価・2018/03/01・労務1 R0008
トラッククレーン賃料	4.9 t 吊	日	2.7			県単価・2018/01/01・119 L0013-000
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					



第 53 号 一位代価表 軽量金属製支保設置撤去工

2段 3.5m以下 軽量金属腹起し材  
ねじ式パイプサポート

Z0011

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
世話役 (一般)		人	3.8			県単価・2018/03/01・労務1 R0001
特殊作業員		人	3.8			県単価・2018/03/01・労務1 R0004
普通作業員		人	10.4			県単価・2018/03/01・労務1 R0008
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

## 第 54 号 一位代価表 タンパ運転

質量60～80kg

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	5			県単価・2018/01/01・100 CT6910
タンパ及びランマ賃料	質量60～80kg	供用日				県単価・2018/01/01・120 H39520R
諸雑費		式	1			#99
計						1日 当り

機一31, [労務数量]=1, [燃料消費量]=5, [賃料数量]=1.38, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

## 第 55 号 一位代価表 軽量鋼矢板たて込み工 (両側分)

機械施工 矢板長2.5m

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
世話役 (一般)		人	3.8			県単価・2018/03/01・労務1 R0001
特殊作業員		人	3.8			県単価・2018/03/01・労務1 R0004
普通作業員		人	11.4			県単価・2018/03/01・労務1 R0008
バックホウ(クローラ型)運転	標準型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) 排出ガス対策型(第1次基準値)	h	16.8			第 48 号一位代価表参照 J1167-J01
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

## 第 56 号 一位代価表 軽量鋼矢板引抜工 (両側分)

機械施工 矢板長3.0m

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
世話役 (一般)		人	2.5			県単価・2018/03/01・労務1 R0001
特殊作業員		人	2.5			県単価・2018/03/01・労務1 R0004
普通作業員		人	5			県単価・2018/03/01・労務1 R0008
トラックレン賃料	4.9 t 吊	日	2.5			県単価・2018/01/01・119 L0013-000
諸雑費		式	1			#99
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

## 第 57 号 一位代価表 トラック運転

クレーン装置付 ベーストラック4t積 吊能力2.9t

1 h 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0140
軽油	1. 2号 パトロール給油	L	5.7			県単価・2018/01/01・100 CT6912
トラック	クレーン装置付 ベーストラック4t積 吊能力2.9t	h				03-02-021-043-1 H16740S
諸雑費		式	1			#99
計						1 h 当り

機一1, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

## 第 58 号 一位代価表 振動ローラ運転

舗装用 搭乗・コンパクト式 質量3~4t  
排出ガス対策型(第1次基準値)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0140
軽油	1. 2号 パトロール給油	L	13			県単価・2018/01/01・100 CT6912
振動ローラ賃料	舗装用 搭乗・コンパクト式 質量3~4t 排出ガス対策型(第1次基準値)	供用日				県単価・2018/01/01・117 H39453R
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一28, [労務数量]=1, [燃料消費量]=13, [賃料数量]=1.52, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

## 第 59 号 一位代価表 タンパ運転

質量60～80kg

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	4			県単価・2018/01/01・100 CT6910
タンパ及びランマ賃料	質量60～80kg	供用日				県単価・2018/01/01・120 H39520R
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一31, [労務数量]=1, [燃料消費量]=4, [賃料数量]=1.61, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

## 第 60 号 一位代価表 振動ローラ運転

舗装用 ハトガバ式 質量0.5~0.6t

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
軽油	1. 2号 パトロール給油	L	3			県単価・2018/01/01・100 CT6912
振動ローラ	舗装用 ハトガバ式 質量0.5~0.6t	供用日				08-41-100-006-1 H39260T
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一23, [労務数量]=1, [燃料消費量]=3, [損料数量]=1.23, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定



## 第 61 号 一位代価表 振動コンパクト運転

前進型 質量40~60kg

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				県単価・2018/03/01・労務1 CR0010
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	5			県単価・2018/01/01・100 CT6910
振動コンパクト	前進型 質量40~60kg	供用日				08-70-100-060-1 H39630T
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

機一23, [労務数量]=1, [燃料消費量]=5, [損料数量]=1.4, [公害対策機種]='基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

見積參考資料

単独基礎単価一覧表

平成30年3月1日

コード	名称	規格	単位	単価	区	構成比	摘要
Y0001	修理費及び損耗費	軽量鋼矢板 1 型 軽作業	t		7		県単価・2018/01/01・113
Y0002	鋼矢板賃料	軽量 1 型 90日以内	t / 日		7		県単価・2018/01/01・113
Y0003	廃材処分料	無筋Co殻 北部地区	m3		15		県単価・2018/01/01・102
Y0004	廃材処分料	路盤材 (上層・下層) 北部地区	m3		15		県単価・2018/01/01・102
Y0005	廃材処分料	A s 殻 北部地区	m3		15		県単価・2018/01/01・101
Y0006	アルミ腹起し賃料	70~80×115~130×2,000	本/日		34	7	局独自
Y0007	アルミ腹起し基本料	70~80×115~130×2,000	本	500	7		局独自
Y0008	アルミ腹起し賃料	70~80×115~130×3,000	本/日		48	7	局独自
Y0009	アルミ腹起し基本料	70~80×115~130×3,000	本	500	7		局独自
Y0010	アルミ腹起し (賃料)	70~80×115~130×4,000	本/日		58	7	局独自
Y0011	アルミ腹起し基本料	70~80×115~130×4,000	本	500	7		局独自
Y0012	アルミギア式サポート賃料	720~1,130	本/日		110	7	局独自
Y0013	アルミギア式サポート基本料	720~1,130	本	500	7		局独自
Y0014	アルミギア式サポート賃料	2,640~3,200	本/日		245	7	局独自
Y0015	アルミギア式サポート基本料	2,640~3,200	本	1,400	7		局独自
Y0016	生コンクリート (早強)	18-8-25 (20) W/C指定無し 厚木	m3		9		県単価・2018/01/01・28
Y0017	生コンクリート (高炉)	18-8-25 (20) W/C指定無し 厚木	m3		9		県単価・2018/04/01・28

単独基礎単価一覧表

平成30年3月1日

コード	名称	規格	単位	単価	区	構成比	摘要
Y0018	再生クラッシャーラン	RC-40 厚木	m3			3	県単価・2018/01/01・40
Y0019	再生粒度調整砕石	RM-40 厚木	m3			3	県単価・2018/01/01・41
Y0020	再生アスファルト安定処理材	再生As安定処理 (40) 厚木	t			11	県単価・2018/01/01・58
Y0021	再生アスファルト混合物	再生粗粒度As混合物 (20) 厚木	t			11	県単価・2018/01/01・54
Y0022	再生アスファルト混合物	再生密粒度As混合物 (13) 厚木	t			11	県単価・2018/01/01・54

資 材 調 書

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	L	76.86			県単価・2018/01/01・61 CT2209
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	L	62.35			県単価・2018/01/01・61 CT2210
ガソリン	レギュラー スタンド渡し	L	19.18			県単価・2018/01/01・100 CT6910
軽油	1. 2号 パトロール給油	L	234.78			県単価・2018/01/01・100 CT6912
再生クラッシャーラン	RC-40 厚木	m3	48.933			県単価・2018/01/01・40 Y0018
再生粒度調整碎石	RM-40 厚木	m3	7.811			県単価・2018/01/01・41 Y0019
〈一般資材(非二次製品)計〉						+00
再生アスファルト安定処理材	再生As安定処理(40) 厚木	t	11.32			県単価・2018/01/01・58 Y0020
再生アスファルト混合物	再生粗粒度As混合物(20) 厚木	t	6.29			県単価・2018/01/01・54 Y0021
再生アスファルト混合物	再生密粒度As混合物(13) 厚木	t	7.45			県単価・2018/01/01・54 Y0022
〈As合材計〉						+00

付属 1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断濁水処分費（北部地区）	アスファルト舗装版 処分費の対象	m3	0.243			県単価・2018/01/01・101 CZ0400-020
廃材処分料	無筋Co殻 北部地区	m3	8.8			県単価・2018/01/01・102 Y0003
廃材処分料	路盤材（上層・下層） 北部地区	m3	33.9			県単価・2018/01/01・102 Y0004
廃材処分料	A s 殻 北部地区	m3	10			県単価・2018/01/01・101 Y0005
〈処分費等計〉						+00
《二次製品計》						+00

# 位置図



工事名 半原線馬渡橋導水管撤去工事(4)

工事場所 愛甲郡愛川町田代地内